

安全データシート

1. 物質の特定

製品名 テクノビット 6091 主液
供給者 株式会社ニューメタルス エンド ケミカルス コーポレーション
住所 東京都中央区京橋1-2-5京橋TDビル
TEL No. 03-3231-8600
緊急連絡先 03-3231-8600

2. 危険有害性の要約

2.1.GHS分類

物理的・化学的危険性

引火性液体: 区分2、H225 引火性の高い液体及び蒸気

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性: 区分2、H315 皮膚刺激

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分2、H319 強い眼刺激

皮膚感作: 区分1、H317 アレルギー性皮膚反応を起こす恐れ

特定標的臓器: 区分3、H335 呼吸器への刺激の恐れ

水生環境に対する有害性

なし

2.2 GHSラベル表示

絵表示



注意喚起語 危険

有害性物質
メタクリル酸メチル
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル

危険有害性情報
H225 引火性の高い液体及び蒸気
H315 皮膚刺激
H319 強い眼刺激
H317 アレルギー性皮膚反応を起こす恐れ
H335 呼吸器への刺激の恐れ

注意書き
P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。
P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
P303+P361+P353 皮膚(または髪)に付いた場合:汚れた着衣は全て脱ぎ、皮膚を水で洗い流す

P305+P351+P338 眼に入った場合:水で数分注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 P321 特別な処置が必要である。
 P405 施錠して保管すること。

2.3. その他有害性情報

PBT,vPvB評価結果

PBT: 適用外

vPvB: 適用外

3. 内容物に関する情報

3.1. 化学的特性 混合物

3.2. 有害物

CAS番号	成分	有害性情報	濃度
80-62-6	メタクリル酸メチル	引火性液体: 区分2, H225 皮膚腐食性/刺激性: 区分2, H315 皮膚感作性: 区分1, H317 特定標的臓器毒性、単回暴露: 区分3, H335	50-75%
868-77-9	メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	眼刺激性: 区分2, H319 皮膚感作性: 区分1, H317	20-50%
79-39-0	メタクリルアミド	特定標的臓器有害性、単回暴露: 区分2, H371 特定標的臓器有害性、反復暴露: 区分2, H373 急性毒性、経口: 区分4, H302 特定標的臓器毒性、単回暴露: 区分3, H335	0-5%
99-97-8	N,N-ジメチル-p-トルイジン	急性毒性、経口: 区分3, H301 急性毒性、経皮: 区分3, H311 急性毒性、吸入: 区分3, H331 特定標的臓器有害性、反復暴露: 区分2, H373 水性環境有害性、長期間有害性: 区分3, H412	0-5%

・追加情報: 第16項参照

4. 救急処置

- ・一般事項 症状は数時間後に発生する可能性もある為、事故発生後最低48時間は経過観察を行うこと。
- ・吸入した場合 新鮮な空気中に出る。症状が出た場合は医師に相談する。
- ・肌に触れた場合 水と石鹸で直ちに洗い、流水でしっかりと流すこと。
- ・眼に入った場合 流水で数分目を洗浄する。症状が持続する場合は医師に相談する。
- ・誤飲した場合 口をすすぎ十分な量の水を飲む。すぐに医師に連絡をする。症状が持続する場合には医師に相談する。

5. 火災時の処置

5.1. 消火剤

- ・適した消火剤 炭酸ガス、砂、粉末消火剤を用いる。水は使用しないこと。
- ・適さない消火剤 水

5.2. 火災時に発生する可能性のある特殊有害性

爆発性のあるガス／空気の混合物を生成する可能性あり。

火災時等の熱分解生成物として有毒ガスが発生する可能性あり。

5.3. 消火作業へのアドバイス

- ・保護具 呼吸器をつける事。
- ・追加情報 -

6. 漏洩時の処置

6.1. 人についての注意事項

防護服を着用。防護していない者の立ち入りを禁止する。

6.2. 環境に対する注意事項

下水施設、穴、地下への流出をさける。

6.3. 清掃、回収の注意事項

漏洩液は珪藻土、ユニバーサルバインダー、少量であればティッシュ等に吸収させる。

水又は水溶性洗剤で洗い流さない。

6.4. 他章の参照事項

人体の保護に関しては8章を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1. 安全な取扱いに関する注意事項

容器を密封する。

作業場所の換気、排気を良くすること。

- ・爆発・火災防止に関する情報

発火源から隔離すること。禁煙。静電気の蓄積を防ぐ。

7.2. 安全な保管および避けるべき注意点

涼しく乾燥した場所に、密閉容器に入れて保管する。

8. 曝露予防及び人体保護に関する注意

項目7を参照

8.1. 管理項目

- ・職場で管理が必要な物質

CAS番号	物質名	分類	露出限界
80-62-6	メタクリル酸メチル	OES	短時間 100ppm, 416mg/m ³ 、 長時間 50ppm, 208mg/m ³

- ・DNELs (Derived No-Effect Level: 導出無毒性量)

CAS番号	物質名	曝露経路	曝露条件	限界値
80-62-6	メタクリル酸メチル	経皮	作業中、長時間、全身	74.3mg/Kg/日 (人)
		吸入	作業中、長時間、全身	210mg/m ³ (人)

•PNECs (Predicted No Effect Concentration: 予測無影響濃度)

CAS番号	物質名	環境コンパートメント	限界値
80-62-6	メタクリル酸メチル	真水	0.94mg/l(水)

8.2. 保護具

- 一般的保護、衛生標準 飲食物を遠ざける
衣服に付着した場合速やかに脱ぐ。
休憩時及び取扱後に手を洗う。眼及び皮膚の接触を避ける。
- 呼吸器の保護 換気が十分にされていれば、特に必要なし。
もし蒸気を吸い込む可能性がある場合、マスク(フィルターA)で防護する。

手の保護

皮膚への接触が避けられない場合は、皮膚感作を避けるために保護手袋を着用する。

•手袋の材質

手袋の選定にあたっては、材質だけでなくメーカーに応じて異なる品質も考慮する必要がある。製品は複数の材質から構成されており、薬品への耐性を推測することは困難である。従って、実際の用途に合わせて事前にテストを行なう必要がある。

•浸透時間

手袋の正確な耐久時間は、手袋を製造するメーカーにて導き出す必要がある。

•作業場において長時間に渡り接触する可能性がある場合には、次の材質の手袋が適している。

PVA手袋

•最長15分の接触であれば、次の材質の手袋が適している。

ブチルゴム(BR)、フルオロカーボンゴム(Viton)、ニトリルゴム(NBR)、クロロプレンゴム(CR)

目の保護 ゴーグルを着用が望まれる。

身体の保護 軽量保護服を着用。

9. 物理的、化学的特性

•外観

•形 液体

•色 なし

•臭気 特異臭

•臭気限界 --

•pH --

•状態変化

•融点 --

•沸点 101℃

•引火点 12℃

•引火性 --

•発火点 430℃

•分解温度 --

•自己発火性 なし

•爆発危険性 基本的には爆発しないが、爆発性のある蒸気/空気の混合物が生成する可能性あり。

- ・爆発限界
 - ・下限 2.1 体積%
 - ・上限 12.5 体積%
- ・蒸気圧(20°C) 47hPa
- ・密度(20°C) 0.95g/cm³
- ・溶解/混和
 - ・水 溶解しないまたは溶解し難い
- ・分配係数 --
(n-オクタノール/水)
- ・粘度(20°C) 50mPas
- ・固形分 3.1%

10. 安定性および反応性

- 10.1. 反応性 関連情報なし
- 10.2. 化学的安定性
 - ・回避すべき条件 データシートに従って使用、保管する限り分解しない。
- 10.3. 危険反応の可能性 危険性なし
- 10.4. 回避すべき条件 関連情報なし
- 10.5. 回避すべき物質 関連情報なし
- 10.6. 危険分解物 なし

11. 有害性情報

- ・急性毒性 入手可能なデータに基づけば、分類基準には該当しない。

CAS番号	物質名	曝露経路	判定項目	
80-62-6	メタクリル酸メチル	経口	LD50	>5000mg/kg (rat)
		経皮	LD50	>5000mg/kg (rat)
		吸入	LC50/4時間	29.8mg/l (rat)
868-77-9	メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	経口	LD50	5564mg/kg (rat)
		経皮	LD50	>3000mg/kg (can)
99-97-8	N, N-ジメチル-p-トルイジン	経口	LD50	500mg/kg (rat)
		吸入	LC50/4時間	1400mg/l (rat)

主な刺激性

- ・皮膚に対する腐食性/刺激性 皮膚刺激性有り
- ・眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 眼刺激性有り
- ・気道または皮膚への感作
 - ・皮膚への腐食性/刺激性 皮膚のアレルギー反応を引き起こす可能性有り
- ・CMR効果(発がん性、突然変異原性、繁殖毒性)
 - ・生殖細胞変異原性 入手可能なデータに基づけば、分類基準には該当しない
 - ・発がん性 入手可能なデータに基づけば、分類基準には該当しない

- ・繁殖毒性 入手可能なデータに基づけば、分類基準には該当しない
- ・STOT単回曝露 気道刺激性のある可能性有り
- ・STOT反復曝露 入手可能なデータに基づけば、分類基準には該当しない
- ・吸引有害性 入手可能なデータに基づけば、分類基準には該当しない

12. 環境に関する情報

12.1. 毒性

- ・水生環境に対する毒性

CAS番号	物質名	判定項目	
99-97-8	N, N-ジメチル-p-トルイジン	LD50/96時間	100mg/l (fish)

12.2. 残留性及び分解性 関連情報なし

12.3. 生体内蓄積の可能性 関連情報なし

12.4. 土壌可動性 関連情報なし

- ・追加環境情報

- ・一般事項

地下水、水域、下水施設への流出は防いでください。

ごく少量でも土壌に流出した場合には、飲み水に危険を及ぼします。

12.5. PBT及びvPvB評価結果

・PBT 該当なし

・vPvB 該当なし

12.6. その他有害情報 関連情報なし

13. 廃棄処分

推奨事項

家庭ごみとしての廃棄は禁止。

下水施設(下水、貯水)への流出は禁止。

少量の場合は硬化させて一般ごみとして処理可能。

多量の場合は関係法規に従って廃棄すること。

材料のついた梱包

関係法規に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

14.1. UN番号

ADR、IMDG、IATA 1247

14.2. UN正式品名

・ADR 1247 メタクリル酸メチルモノマー、安定剤入り、溶液

・IMDG,IATA メタクリル酸メチルモノマー、安定剤入り、溶液

14.3. 輸送有害性クラス

- ・ADR(陸上輸送)

・クラス 3(F1) 可燃性液液体

・ラベル 3



・IMDG(海上輸送)、IATA(航空輸送)

- ・クラス 3 可燃性液体
- ・ラベル 3



14.4. 梱包グループ

- ・ADR,IMDG,IATA II

14.5. 環境有害性

- ・海洋汚染 なし

14.6. 使用者の警戒事項 注意:可燃性液体

- ・Kemler番号 339
- ・EMS番号 F-E,S-D

14.7. Marpol Annex II及びIBCコードに基づく大量輸送 適用外

- ・輸送に関する追加情報 なし
- ・UN勧告 UN1247、メタクリル酸メチルモノマー、安定剤入り、溶液、3、II

15. 国内適用法規

メタクリル酸メチル:

消防法:

第4類引火性液体、第一石油類非水溶性液体（法第2条第7項危険物別表第1・第4類）
【2 第一石油類非水溶性液体】

化学物質管理促進法:

第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1）【420メタクリル酸メチル】

安全衛生法:

危険物・引火性の物（施行令別表第1第4号）【4の3その他の引火点0℃以上30℃未満のもの】
名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表
第9）【557メタクリル酸メチル】

大気汚染防止法

揮発性有機化合物（法第2条第4項）（環境省から都道府県への通達）【揮発性有機化合物】

海洋汚染防止法

有害液体物質（Y類物質）（施行令別表第1）【421メタクリル酸メチル】

N,N-ジメチル- p-トルイジン:

消防法:

第4類引火性液体、第三石油類非水溶性液体（法第2条第7項危険物別表第1）

【5 第三石油類非水溶性液体】

メタクリル酸 2-ヒドロキシエチル:

消防法:

第4類引火性液体、第三石油類水溶性液体（法第2条第7項危険物別表第1・第4類）

【5 第三石油類水溶性液体】

16. 他の情報

製造者: Heraeus Kulzer GmbH, D-61273 Wehrheim, Germany

上記の情報は現在のデータに基づいたもので、いかなる製品についても保障をするものではなく、法律上の契約等が成立するものではない。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 テクノビット 6091パウダー
供給者 株式会社ニューメタルス エンド ケミカルス コーポレーション
住所 東京都中央区京橋1-2-5京橋TDビル
TEL No. 03-3231-8600
緊急連絡先 03-3231-8600

2. 危険有害性の要約

2.1. GHS分類

物理的・化学的危険性 なし
健康に対する有害性 なし
水生環境に対する有害性 なし

2.2. GHSラベル表示

絵表示 なし
注意喚起語 なし
危険有害性情報 なし
注意書き ジベンジルペルオキシド、フタル酸ジシクロヘキシルを含んでおり、アレルギーを引き起こす可能性あり。

2.3. その他有害性情報

PBT、vPvB評価結果
・PBT: 適用外
・vPvB: 適用外

3. 内容物に関する情報

化学物質・混合物の区別 混合物 (成分:メタクリル酸エステル共重合体)
有害物情報 なし

4. 救急処置

4.1. 救急処置

・一般 特別な処置の必要なし。
・吸引した場合 新鮮な空気を吸い込む。症状が表れ場合には、医師に相談する。
・肌に触れた場合 皮膚刺激が続く場合には、医師に相談する。
・眼に入った場合 流水で数分眼を洗浄する。
・誤飲した場合 口内をすすいだ後、十分な量の水を飲む。症状が継続する場合には、医師に相談する。

4.2. 急性、遅発性の深刻な症状

関連情報なし

4.2. 緊急性のある医学的注意事項及び特別な処置

関連情報なし

5. 火災時の処置

5.1. 消火剤

適した消化剤:炭酸ガス、粉末消火剤、または水の噴射。規模の大きな火災の際には、水の噴射、または耐アルコーン泡消火薬剤を用いる。

5.2. 特有の危険有害性 関連情報なし

5.3. 消火者の留意事項

- ・保護具 特記事項なし。
- ・追加情報 なし

6. 漏洩時の処置

6.1. 人についての注意事項

防護服を着用。防護していない者の立ち入りを禁止する。

6.2. 環境に対する注意事項

下水施設、地表水、地下水、及び土壌への流出を避ける。

6.3. 清掃、回収の注意事項

機械的に回収する。
法令に従って廃棄する。

6.4. 他章の参照事項

人体の保護に関しては8章を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1. 取扱 防護服を着用。防護していない者の立ち入りを禁止する。

- ・爆発・火災からの保護に関する情報 特記事項なし。

7.2. 保管

- ・保管室、保管コンテナの条件 特になし
- ・共用の保管設備での保管に関する情報 特になし
- ・保管に関する追加情報 冷所に保管する事(25°C以下)

8. 暴露予防及び身体保護に関する注意

8.1. 作業場所で管理が必要な物質

作業場所での管理を要する重大な物質は含まれていない。

- ・DNELs (Derived No-Effect Level: 導出無毒性量)

CAS番号	物質名	曝露経路	曝露条件	限界値
94-36-0	ジベンジルペルオキシド*	経口	ge.pop., l.te, syst.	1.65 mg/Kg (nd)
		経皮	ge.pop., l.te, syst.	3.3mg/Kg/日 (nd)
			worker.industr., l.te, syst.	6.6 mg/Kg/日 (nd)
		吸入	ge.pop., l.te, syst.	2.9mg/m ³ (nd)

			worker.industr., l.te, syst.	11.75mg/m3 (nd)
84-61-7	フタル酸ジシクロヘキシル	経皮	worker.industr., l.te, syst.	6.6mg/Kg/日 (nd)
		吸引	worker.industr., l.te, syst.	11.75mg/m3 (nd)

•PNECs(Predicted No Effect Concentration:予測無影響濃度)

CAS番号	物質名	環境コンパートメント	限界値
84-61-7	フタル酸ジシクロヘキシル	STP	0.35mg/l (nd)
		真水	0.000602mg/l (nd)
		海水	0.0000602 mg/l (nd)
		堆積物, 乾燥重量(dw), 真水	0.388 mg/kg (nd)

8.2. 保護具

一般的保護、衛生標準 一般的な化学品を取り扱う際の予防策を用いる。

呼吸器の保護 呼吸保護具の着用を推奨。フィルターP3。

手の保護

皮膚への接触が避けられない場合は、皮膚感作を避けるために保護手袋を着用する。

•手袋の材質

手袋の選定にあたっては、材質だけでなくメーカーに応じて異なる品質も考慮する必要がある。製品は複数の材質から構成されており、薬品への耐性を推測することは困難である。従って、実際の用途に合わせて事前にテストを行なう必要がある。

•浸透時間

手袋の正確な耐久時間は、手袋を製造するメーカーにて導き出す必要がある。

•作業場において長時間に渡り接触する可能性がある場合には、次の材質の手袋が適している。

PVA手袋

•最長15分の接触であれば、次の材質の手袋が適している。

ブチルゴム(BR)、フルオロカーボンゴム(Viton)、ニトリルゴム(NBR)、クロロプレンゴム(CR)

目の保護 保護眼鏡の着用を推奨。

身体の保護 軽量保護服を着用。

9. 物理的、化学的特性

9.1 一般情報

•外観

•形 粉末

•色 製品の仕様に依存

•臭気 なし

•臭気限界 --

•pH --

•状態変化

•融点 --

•沸点 --

•引火点 --

・引火性	--
・発火点	--
・分解温度	--
・自己発火性	なし
・爆発危険性	基本的には爆発しないが、爆発性のある蒸気／空気の混合物が発生する可能性あり。
・爆発限界	
・下限	--
・上限	--
・蒸気圧	--
・密度	--
・溶解/混和	
・水	溶解しない
・分配係数	--
(n-オクタノール／水)	
・粘度(20℃)	--
9.2. その他情報	関連情報なし

10. 安定性および反応性

10.1. 反応性	関連情報なし
10.2. 化学的安定性	
・回避すべき条件	データシート基準に従って扱う限り特になし。
10.3. 有害反応性情報	なし
10.4. 回避すべき条件	関連情報なし
10.5. 回避すべき物質	関連情報なし
10.6. 有害生成物	なし

11. 有害性情報

11.1. 有害性に関する情報

・急性毒性 入手可能なデータに基づけば、分類基準には該当しない

CAS番号	物質名	曝露経路	判定項目	
9011-14-7	メタクリル酸メチルポリマー	経口	LD50	>10000mg/kg (rat)
94-36-0	ジベンジルペルオキシド*	経口	LD50	5000mg/kg (rat)
		吸入	LC50/4時間	24300mg/l (rat)
84-61-7	フタル酸ジシクロヘキシル	経口	LD50	30000mg/kg (rat)

・主な刺激性

・皮膚に対する腐食性／刺激性	入手可能なデータに基づけば、分類基準には該当しない
・眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	入手可能なデータに基づけば、分類基準には該当しない
・気道または皮膚への感作	入手可能なデータに基づけば、分類基準には該当しない
・CMR効果	
・生殖細胞変異原性	入手可能なデータに基づけば、分類基準には該当しない
・発がん性	入手可能なデータに基づけば、分類基準には該当しない
・繁殖毒性	入手可能なデータに基づけば、分類基準には該当しない

- ・STOT単回曝露 入手可能なデータに基づけば、分類基準には該当しない
- ・STOT反復曝露 入手可能なデータに基づけば、分類基準には該当しない
- ・吸引有害性 入手可能なデータに基づけば、分類基準には該当しない

12. 環境に関する情報

12.1. 毒性

- ・水生環境に対する毒性

CAS番号	物質名	判定項目	
94-36-0	ジベンジルペルオキド*	EC50/72時間	>2mg/l (algae)
		EC50/48時間	>2mg/l (daphnia)
		LC50/96時間	>2mg/l (fish)

12.2. 残留性及び分解性 関連情報なし

12.3. 生体内蓄積の可能性 関連情報なし

12.4. 土壌可動性

- ・追加環境情報

- ・一般事項

無希釈または大量の製品を、地下水、水域、下水施設に流出させないこと。
環境中への移動は避けること。

12.5. PBT及びvPvB評価結果

- ・PBT 該当なし
- ・vPvB 該当なし

12.6. その他有害情報 関連情報なし

13. 廃棄処分

- ・推奨事項 少量であれば対応する物質により硬化させ、関係法規に従って一般ごみとして廃棄することが可能。
- ・材料のついた梱包 関係法規に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

14.1. UN番号

ADR(陸上輸送)、IMDG(海上輸送)、IATA(航空輸送) --

14.2. UN正式品名

・ADR、IMDG、IATA --

14.3. 輸送有害性クラス

・ADR、IMDG、IATA
・クラス --

14.4. 梱包グループ

・ADR,IMDG,IATA --

14.5. 環境有害性

・海洋汚染 なし

14.6. 使用者の警戒事項 適用外

14.7. Marpol Annex II及びIBCコードに基づく大量輸送 適用外

・輸送に関する追加情報 --

・ UN勧告 --

15. 国内適用法規

・ジベンゾイルペルオキシド` (含有率:0.3%)

消防法:

第5類自己反応性化学品－有機過酸化物に該当

労働安全衛生法:

危険物・爆発性の物 (施行令別表第1第1号) 【1の3 過酸化ベンゾイル】

表示・通知義務対象物質 (施工令別表第9、政令番号282)

16. 他の情報

製造者: Heraeus Kulzer GmbH, D-61273 Wehrheim, Germany

上記の情報は現在のデータに基づいたもので、いかなる製品についても保障をするものではなく、法律上の契約等が成立するものではない。